

川崎市管理職が 出退勤登録怠る

30日以上26人

川崎市職員で昨年度、ICカードによる出退勤登録を30日以上していない管理職が26人に上ることがわかった。昨年度は

30回未満だったものの、ここ3年間で計62〜142日、登録していなかった局長級（現在）の幹部も3人いたという。

24日の市議会本会議で、三宅隆介議員（無所属）の一般質問に市が明らかにした。

三宅氏は「タイムカードの打刻は勤務管理の根幹で、打刻漏れが一向に改まらない。職員に規範を示すべき局長までもが数十回という打刻漏れがある」と指摘した。

市幹部は「改善を図る必要がある。より一層の服務規律の確保に向けて取り組みを進めたい」と答弁した。

市によると、ICカードで登録しない場合は所属長らが入力することになるという。

三宅氏は2023年12月に教職員の打刻漏れを指摘し、改善を求めた。